



かどうか検討する。

宇都宮市などは乳児の飲用を控えるよう呼び掛けている。日立市が2歳未満を対象にミルク用の飲料水の配布を始めるなど、関係自治体は対応に追われている。

一方、東京都は24日午後、金町浄水場(葛飾区)で再度水質検査した結果、基準を下回ったとして乳児への摂取制限を解除した。25日以降は測定結果を基に再び制限する

県は24日 放射性物質の影響を把握するため、品目、水道水12地点の計24件を調べたが、採取を控えるほどの放射性物質は検出されなかつたと発表した。このうち県内産農産物6品目からは検出されなかつた。

県によると、調査数は農産物を8品目から12品目、水道水を9地点から12地点に増やした。

阿賀町は放射性ヨウ素が地點で放射性ヨウ素を検出。最も数値が高かつた1錢当たり32錢で、国の暫定基準値同300錢を下回った。いずれも乳児が摂取を控えるほどの数値ではなく、県は「健康に影響はない」としている。

一定点の調査地點は、荒川から取水する胎内市を新たに加えて10地點とした。各市町村から調査要

一方県内産農産物はこの季節に生産されている主なものとしてホウレンソウ、コマツナ、シュンギク、トウナ、キュウリ、イチゴの6品目を29日までの基本的な調査品目に決めた。新発田、三条、長岡、柏崎の4地域の店舗や市場でサンプルを取つてある。

卷之三

# 県産農産物 検出されず

## 水道水ヨウ素検出

# 基準超16市区町村

都、乳児摂取制限を解除

基準値を超える放射性ヨウ素の検出が新たに判明した水道水のうち宇都宮市の水道水は24日採取され、ほかは3日の採

戸市の浄水場2カ所は松戸、市川、船橋の3市に水道水を供給。この浄水場は利根川水系のため、別

を実施中で、23日には放射性物質を吸着するとされる活性炭を浄水場に投入。24日には活性炭の使用量を倍増して。

品目を調査。23日は茨城県産のミズナとハクサイ、埼玉県産と群馬県産のブロッコリーから放射性ヨウ素が検出され、